

平成 23 年度 第 1 回安曇野市地域公共交通協議会兼公共交通会議・幹事会
会議概要

1	委員会名	安曇野市地域公共交通協議会兼公共交通会議・幹事会
2	日 時	平成 24 年 1 月 27 日(金) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分
3	会 場	県安曇野庁舎 401 会議室
4	出席者	奥山委員(幹事長)、松本委員(代)、小林透委員(代)、丸山委員(代)、樋口委員、小野委員、近野委員、松田委員、美濃輪委員、小林敏郎委員、米倉委員、会田委員、山田守二委員、望月委員、山田文明委員、曲淵委員、小林忠由委員、耳塚委員、中山委員、務台委員(代)、大内委員、新家委員、藤松委員 事務局：野口
5	公開・非公開の別	公開
6	記者	0 人
7	傍聴	0 人
8	会議概要作成年月日	平成 24 年 2 月 1 日

協 議 事 項 等

◎ 会議次第

- 1 開会 (事務局藤松)
- 2 あいさつ (奥山幹事長)
- 3 議事
 - (1) 平成 23 年度あづみんの運行状況(検証)について
 - ア あづみん利用者等アンケート結果及び利用状況について
 - イ 13 時便の運行状況について
 - (2) 平成 24 年度地域公共交通協議会事業計画(案)及び予算(案)について
- 4 報告
 - (1) 福祉バスの運行状況について
 - (2) 周遊バスの運行状況について
 - (3) 上田線の運行状況について
- 5 その他
- 6 閉会 (事務局藤松)

◎ 議事

- (1) 平成 23 年度あづみんの運行状況(検証)について
 - ア あづみん利用者等アンケート結果及び利用状況について
 - イ 13 時便の運行状況について

資料 1、資料 2 に基づき、平成 23 年度あづみんの運行状況について事務局から説明。

資料 1 - 1 「あづみん利用者アンケート調査結果」について

- ・利用者の約 6 割は 70 歳以上の高齢者である。性別で見ると女性の利用者が 8 割以上を占めている。
- ・利用時間帯は午前中のみが半数を超えている。
- ・回答者のほとんどが、実証運行開始から継続して利用している。
- ・利用目的は買物、通院が 7 割である。その他、様々な目的で利用されている。
- ・利用の仕方としては、往復利用が 7 割以上である。乗り継ぎ利用を頻繁に利用するのは約 6 % と少ない。
- ・満席のため予約が取れないことが多いが、利用者は時間をずらして利用するなどして対応している。
- ・13 時便の運行は、利用者から好評を得ている。
- ・あづみんを評価する声は高く、9 割以上の利用者が満足していると回答している。

資料1-2「あづみん1回利用者アンケート結果」について

- ・1回利用者のほとんどが同居者で、外出には自家用車等で移動しているため、一回の利用に留まっている。しかし、大半の利用者が便利であると感じており、今後、あづみんの利用が増加すると推測される。

資料1-3「あづみん未利用者アンケート結果」について

- ・未利用者の多くは同居者であり、自家用車等による移動や家族や友人による送迎など、他の交通手段を確保されているため、利用したことがないと推測される。しかし、知人や家族があづみんを利用しているのを見ていることから、あづみんが運行することで自分の周囲の人の満足や、いずれ自分が世話になるという将来の安心につながり、今後、未利用者があづみんを利用していく可能性は高いと推定される。

資料1-4「あづみん定時定路線アンケート結果」について

- ・10代の利用が多いが、30代から70代までの各年代に幅広く利用されている。
- ・日常的に通学、通勤の往路か復路の利用が目立つ。
- ・利用者の居住地は安曇野市以外が約3割、市外が約7割である。
- ・料金についても概ね安いと感じており、大半が今後も利用すると答えている。
- ・運行にあたっては、大半が本当に良かったという意見である。

資料1-5「あづみん及び定時定路線運行状況」について

- ・23年度のあづみんの利用状況は、1日の利用件数で367.3人と前年同期に比べて1.6%増加している。
- ・23年度の定時定路線の1日の利用件数は、36.4件と前年同期に比べて、49.1%増加している。
- ・女性の利用者が約8割。障害者等の利用が35%、また高齢者の利用が多いことから、あづみんは福祉交通としての役割を担っている。

資料2「時間別デマンド利用実績」に基づき13時便の運行状況を説明。

- ・13時便の利用状況は、9便中6番目であるが、利便性が向上し、アンケート結果から好評を得ていることから、同便を継続運行していきたい。
- ・9時便、10時便の利用が多い、8時便は当日予約ができないため利用が少ない。

小野委員：明科高校の請願の件について、新聞等で報道されたが、どのように対応したのか。

藤松課長：明科高校の件については、次の24年度の事業計画（案）で説明させていただきたい。

（2）平成24年度地域公共交通協議会事業計画（案）及び予算（案）について

資料3について、事務局から説明

- ・事業計画（案）について

① 乗り合いタクシー「あづみん（定時定路線を含む）」の運行

- ・13時便の継続運行ほか、あづみんの運行を行う。
- ・定時定路線・穂高—明科間のダイヤについて、朝夕の通学時刻に合わせてほしい旨の明科高校の請願が12月定例会で可決された。その後、学校側と協議し、更に詳細なアンケート調査を実施する中で、3ページに示すように朝便を16分遅れで運行するダイヤを4月から6月までの間、試行運行する方向で調整した。
- ・ナイトラインは、現在と同じ形態で運行するが、隣組回覧など周知を徹底する。

② 乗り合いタクシー「あづみん」の運行の検証

- ・平成24年度は、定時定路線やナイトラインの運行の状況を重点的に検証する。

③ 観光交通（市外移動含む）及び福祉交通との連携

④ 公共交通サービス等に関する情報提供

⑤ その他安曇野市地域公共交通総合連携計画推進に関する事業

- ・予算（案）について説明
- ・予算総額78,301千円で、前年比419千円の増加である。運行日数2日増加によるものである。

山田守二委員：土曜日・日曜日・祭日・年末年始は運休であるが、やむを得ないものか。

事務局：平成20年度から平成22年度まで試行運行を行い、昨年度検証を行い、今年度からの本運行に移行した。土曜日・日曜日の運行は、休日は病院が休診であること、また家族の送迎が見込めるため利用者が少ないものと推測されること。さらに、他の自治体の事例からも極端に利用者が少ないことから運行できないものと判断した。なお、今後も課題として継続的に検討はしていきたい。

美濃輪委員：堀金地域でナイトラインのことを知らない人が多い。もっと周知すべきではないか。また、利用料金も 300 円と高校生にとって高いと思う。もっと広報をしてもらい。

事務局：参考資料のとおりナイトラインの周知用チラシを堀金地域で隣組回覧する。また、堀金中学校の 3 年生にもチラシ等で周知したい。また、周知する中で見直し等していきたい。

幹事長：地域で負担して、利用料金を 100 円割り引くことなども検討してはどうか。

《議題（１），（２）について承認》

４ 報告

（１）福祉バスの運行状況について、高齢者介護課から資料４で説明した。

- ・豊科地域、明科地域については、今年度から運行を開始したが、これまでの利用が豊科については、22 人、明科については、0 人と利用者が少ないため、豊科については 1 月、明科については 2 月に運行を終了する。

小野委員：福祉バスについて、明科地域は 0 人である。PR が足りなかったのではないか。

高齢者介護課：PR が少なかった点もあるが、明科の福祉センターは入浴施設が整っていなかったなど、利用ニーズが少なかったこともあると思う。豊科地域には、回覧で周知した。

（２）周遊バスの運行状況について、耳塚委員が資料５について説明

- ・おひさま効果で利用者が急増した。大王わさび農場周辺の渋滞の解消が課題である。

（３）上田線の運行状況について、耳塚委員が資料６にて説明

- ・利用は 1 便あたり 1.3 人と低調である。上田市まで 1 時間 15 分所要時間が掛かり、この点も課題と言えるが、来年度も運行を継続したい。

奥山幹事長：以上議題及び報告事項について終了する。

事務局：以上をもって本日の会議を閉会する。次回協議会は、3 月 23 日（金）午後 1 時 30 分から開催したい。